

学長の業務執行状況の確認結果について

令和3年3月18日
国立大学法人宇都宮大学学長選考会議

国立大学法人宇都宮大学学長選考会議規程第3条第1項第3号に規定する学長の業務執行状況の確認を行いましたので、その結果を公表します。

1. 確認方法について

令和2年度第5回学長選考会議(令和3年1月20日(水))において、事務局から、以下の資料に基づき説明があった後、学長から、令和2年1月から令和3年3月までの大学運営の取り組み及び今後の展開について説明があり、次いで、学長選考会議委員との質疑応答を行った。

- ・ 国立大学法人評価委員会による業務の実績に関する評価結果
「令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果 国立大学法人宇都宮大学」
- ・ 令和元事業年度に係る業務の実績に関する報告書
- ・ 学長再任時の所信表明
「現学長の選考の際に提出された所信表明書(平成29年9月28日)」
- ・ 監事による業務監査の実施結果報告
「令和元年度国立大学法人宇都宮大学監事監査意見(報告)書」

2. 確認結果について

別紙のとおり。

以上

国立大学法人宇都宮大学学長業績確認結果書（総表）

総合評価	評価	4 期待する程度を上回った
<p>将来の教員需要の減少が予想される中，地域教育を見据えた質の高い教員養成機能を維持するため，群馬大学との共同教育学部を設置した。この取組は全国初であり，国立大学法人評価委員会において“特筆”との評価を得ている。</p> <p>研究の推進支援として，研究活動が優れている教員を研究活動に専念できる環境を構築するため「卓越教員制度」を創設し，3名の卓越教員を指定した。また，教教分離をベースとした博士後期課程の改組及び異分野融合研究支援事業など研究の活性化に取り組んだ。</p> <p>県内全ての自治体と相互友好協定を締結し，社会連携・地域貢献を積極的に行った。これにより，那須塩原市における温暖化対策支援への取組につながっている。</p> <p>今後の国際交流に重要であると考え，大学の世界展開力強化事業「国際化拠点整備事業」や「国費外国人留学生特別プログラム」が採択された。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生支援などの取組として，緊急学生支援パッケージ（緊急奨学金やノートパソコンの貸与など）の実施やオンライン講義と限定的な対面講義を実施するなど様々な教育支援に対して迅速な対応を行った。</p> <p>以上の結果を踏まえ，総合的に検討した結果，学長の業務執行状況は順調かつ着実に進捗し，期待する程度を上回ると判断する。</p>		

項目別評価〔教育〕	評価	4 期待する程度を上回った
<p>群馬大学との共同教育学部の設置は全国初であり，国立大学法人評価委員会において“特筆”との評価を得ている。将来の教員需要の減少が予想される中，地域教育を見据えた取組であり，質の高い教員養成機能を維持することは重要である。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生支援などの取組として，緊急学生支援パッケージ（緊急奨学金やノートパソコンの貸与など）の実施やオンライン講義と限定的な対面講義を実施するなど様々な教育支援に対して迅速に対応しており，これらの取組は，文部科学省から優れた取組事例として評価されている。</p> <p>教学マネジメント支援室の設置による全学的な教学マネジメントの推進，アクティブラーニングによる教育の質の改善，数理・データサイエンス教育やSDGs 関連科目の必修化など様々な教育に関する取組を行っている。</p> <p>全学部の留年率は低下しているが，留年率の多い学部においては留意したい。</p> <p>教育環境としてWi-Fi環境を含めた学内ネットワークの充実・整備については，早期に対応が求められる。</p>		

項目別評価〔研究〕	評価	4 期待する程度を上回った
<p>研究の推進支援として、研究活動が優れている教員を研究活動に専念できる環境を構築するため「卓越教員制度」を創設し、3名の卓越教員を指定した。また、研究状況や論文掲載推移を把握し、分析するため「研究業績分析ツール」を導入し、教員への競争心理を促すことにより更なる研究への啓蒙を図った。</p> <p>学長人事ポイントの柔軟な使用、若手・女性・英語ネイティブなど多様性のある教員の採用、URAの常勤化の決定、研究スペースのマネジメントなど研究力の重点的な強化に努めた。ロボット技術の研究、光分野での研究では大きな成果を上げている。URAによる科研費獲得のための施策など研究費獲得への取組を行った。</p> <p>教教分離をベースとした博士後期課程の改組及び異分野融合研究支援事業など研究の活性化に取り組んだ。</p>		

項目別評価〔社会連携・地域貢献〕	評価	4 期待する程度を上回った
<p>県内全ての自治体と相互友好協定を締結し、地域社会への貢献の礎を築いた。これにより、那須塩原市における温暖化対策支援への取組につながっている。</p> <p>地域行政組織や地域産業界との連携・協力関係を構築し、地域に根ざした地方大学のあり方を先取りした取組を進めた。</p> <p>ステークホルダーとの連携強化、地域連携専門家のクロスアポイントによる雇用など活発に活動し、今後の地域社会連携の道筋を立てた。</p> <p>地域デザイン科学部等の卒業生が在校生とコラボしていくことを期待している。</p> <p>情報発信では日本経済新聞社の人事面での「採用を増やしたい大学」で全国3位となるなど効果が出ている。</p>		

項目別評価〔国際交流〕	評価	4 期待する程度を上回った
<p>コロナ禍で国際交流が困難な状況ではあったが、「大学の世界展開力強化学業」としてアフリカ諸国との大学間交流が形成され、“国際化拠点整備事業”が採択されたことは意義深い。また、サラワク大学（マレーシア）とのオンライン英語研修報告会によるオンライン留学が実施された。更に国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラムが採択されたことは今後の国際交流に重要である。</p> <p>「THE：大学インパクトランキング2020」では世界401-600位、国内同率20位にランクされたことは、今後の国際化に期待が持てる。</p> <p>SDGsの推進や3C基金などを活用し、コンパクトな総合大学に適した手作りのグローバル教育を推進した。</p>		

項目別評価〔大学運営〕	評価	5 期待する程度を大幅に上回った
<p>群馬大学との共同教育学部の設置は全国初であり，国立大学法人評価委員会において“特筆”との評価を得ている。将来の教員需要の減少が予想される中，地域教育を見据えた取組であり，質の高い教員養成機能を維持することは重要である。</p> <p>3年前の所信において“長期的な展望に立って一歩先を読んだ改革を着実に進める”とあるが，この一年間で改革を実践した，地域創生科学研究科博士後期課程の設置，ガバナンス改革推進による非常勤理事の新設，各学部選出評議員を2名から1名に変更，学部長指名による副学部長の新設，各学部事務室を一元化し，「キャンパス事務部」を設置，ガバナンスコードの策定，附属中学校校長の常勤化など大変意義深く，評価に値するとともに，今後の発展に大いに寄与していくと推察される。</p> <p>大学経営執行部及び職員，学生との意見交換の機会を積極的に設け，風通しの良い組織風土の醸成に大きな成果を上げた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生支援などの取組として，緊急学生支援パッケージ（緊急奨学金やノートパソコンの貸与など）を実施し，学生を中心に据えた大学運営に取り組んだ。</p>		

評価	評価内容
5	期待する程度を大幅に上回った
4	期待する程度を上回った
3	期待する程度であった
2	期待する程度を下回った
1	期待する程度を大幅に下回った